

エコアクション21

# 環境活動レポート

活動期間：2021年4月～2022年3月



発行：2022年6月22日

テムズ中日株式会社



# 1. 組織の概要

## 1) 事業者名及び代表者名

テムズ中日株式会社  
代表取締役社長 小塚 健司

## 2) 所在地

本 社	〒471-0832 豊田市山之手10丁目23番9
(松平分室)	〒444-2215 豊田市中垣内町楠8番、39番
(岡崎倉庫)	〒444-2235 岡崎市大門4丁目17番7
豊橋支店	〒441-8061 豊橋市藤沢町93番地
静岡営業所	〒410-1107 静岡県裾野市御宿51-1

## 3) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 : 常務取締役 吉田 一仁  
担 当 者 : EA21事務局 三浦 真澄(総務部 係長)  
連 絡 先 : TEL 0565-28-7551  
FAX 0565-28-5003

## 4) 事業活動

総合ビルメンテナンス業務・総合工事業務・廃棄物処理業務[詳細次P]

## 5) 事業の規模

・設立年月日 : 昭和41年11月9日  
・資 本 金 : 3,000万円  
・売 上 高 : 1,485百万円(令和3年4月～令和4年3月)  
・従業員数 : 195名(令和4年3月31日現在)

## 6) 認証・登録の範囲

### 事業活動

総合工事業務・廃棄物処理業務[詳細次P]

「総合ビルメンテナンス業務」は認証・登録の範囲外とする

(「総合ビルメンテナンス業務」はISO14001による活動中)

### サイト

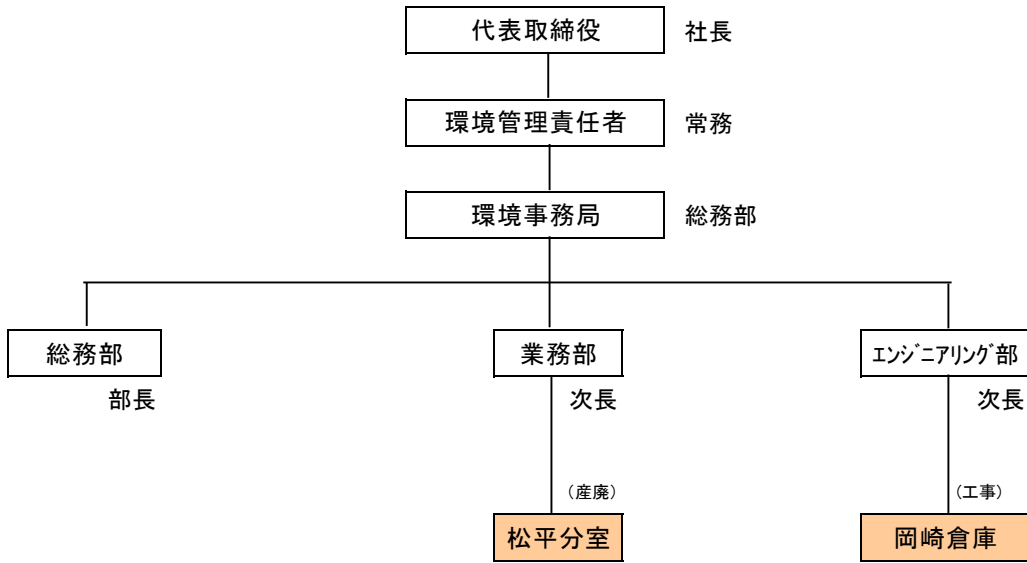
本社(「総合ビルメンテナンス業務」部署除く)

松平分室(業務部産廃部門＝積換保管施設・車両置場)

岡崎倉庫(エンジニアリング部資機材専用倉庫)

豊橋支店及び静岡営業所は「総合ビルメンテナンス業務」により対象外

7) エコアクション21 実施体制図



(注)「総合ビルメンテナンス業務」部門は対象外

代表取締役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の決定</li> <li>・環境管理責任者の任命</li> <li>・全体の評価及び見直し指示</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マネジメントシステムの監視</li> <li>・パフォーマンスの監視</li> <li>・遵守評価の実施</li> </ul>
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境関連外部との窓口</li> <li>・文書、記録の管理</li> <li>・環境計画立案、調整</li> <li>・部門への計画推進指示及び進捗管理、データ管理</li> <li>・教育訓練の実施管理</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部門における環境計画の立案、遂行管理</li> <li>・実施状況の確認・記録管理</li> </ul>
部門担当者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・部門の計画の実施</li> <li>・自己の役割の認識</li> </ul>

## 8) 廃棄物処理業務概要

### ①許可の内容

#### 廃棄物収集運搬業

自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日	区別	品目数	許可品目
豊田市	第1035号	令和3年7月4日	令和5年7月3日	一廃	1	ごみ
岡崎市	第10162号	令和3年7月28日	令和5年7月27日	一廃	1	ごみ
みよし市	27み令環第1456号	令和4年4月1日	令和6年3月31日	一廃	1	事業系一般廃棄物
愛知県	第02300035544号	平成29年5月24日	令和6年5月23日	産廃 (優良)	14	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類
	第02350035544号	令和3年6月1日	令和8年5月31日	特管	5	(積替え、保管除く)引火性廃油、腐食性廃酸、腐食性廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害廃石綿等
豊田市	第09010035544号	平成29年6月29日	令和6年6月28日	産廃 (優良)	11	(積替え、保管除く)燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、繊維くず、動植物性残さ、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、鋳さい、がれき類、(水銀使用製品産業廃棄物含む)
					5	(積替え、保管を含む)廃プラスチック類、紙くず、木くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、(水銀使用製品産業廃棄物含む)

### ②保有車両

	寸法	最大積載量	台数	備考
バン	4,690×1,690×1,980	1250kg	1台	
パッカー車(塵芥車)	5,870×2,090×2,440	2700kg	1台	
パッカー車(塵芥車)	5,770×2,090×2,400	3050kg	1台	
揚泥車(清掃車)	6,860×2,190×2,710	2180kg	1台	
コンテナ専用車(脱着装置付)	6,140×2,210×2,400	3900kg	1台	
コンテナ専用車(脱着装置付)	5,860×2,200×2,400	3950kg	1台	
キャブオーバー	8,140×2,230×3,020	2550kg	1台	
キャブオーバー	5,990×1,880×2,150	2000kg	1台	

### ③積替保管施設

- ・所在地 愛知県豊田市中垣内町楠8番、39番
- ・面積 240.28㎡ (保管面積12㎡)
- ・積替保管を行う産業廃棄物の種類(5品目一水銀使用製品産業廃棄物含む)
  - ・廃プラスチック類(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)
  - ・紙くず、木くず、金属くず(自動車等破砕物を除く。)
  - ・ガラスくず・コンクリートくず(工作物の新築、改築又は除去に伴って生じたものを除く)及び陶磁器くず(自動車等破砕物及び石綿含有産業廃棄物を除く。)
- ・保管上限 9.97㎡
- ・高さ 1.3m

④産業廃棄物の受入量・運搬量(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

廃棄物等の種類	単位	受入量	運搬量①	運搬量②	備考
廃プラスチック類	kg	438,610	303,790	134,820	運搬量①＝ 直送運搬量 運搬量②＝ 積替保管量
金属くず	kg	559,550	217,040	342,510	
ガラス・陶磁器くず	kg	79,290	6,590	72,700	
紙くず	kg	15,840	4,200	11,640	
木くず	kg	23,290	8,890	14,400	
混合物	kg	88,780	76,790	11,990	
蛍光灯(水銀使用製品産業廃棄物)	kg	1,370	1,290	80	
がれき類	kg	7,250	7,250	-	
廃油	kg	5,200	5,200	-	
廃アルカリ	kg	1,230	1,230	-	
廃酸	kg	190	190	-	
引火性廃油	kg	40	40	-	
汚泥	kg	7,520	7,520	-	
廃電機器具	kg	1,114	1,114	-	
乾電池	kg	104	104	-	

⑤ 一般廃棄物の運搬量(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

廃棄物等の種類	単位	運搬量	備考
可燃	kg	71,350	焼却
段ボール	kg	47,690	資源
雑誌	kg	9,080	資源
新聞	kg	1,050	資源
シュレッダー古紙	kg	13,840	溶解
機密書類	kg	4,700	溶解/焼却
飲料缶	kg	85	資源
飲料瓶	kg	110	資源
鉄くず(有価客先返却)	kg	79,550	有価
家電リサイクル 冷蔵庫	台	1	-
家電リサイクル 洗濯機	台	1	-
家電リサイクル 乾燥機	台	1	-
家電リサイクル テレビ	台	3	-
家電リサイクル エアコン	台	2	-

## 2. 環境方針

### 基本理念

テムズ中日株式会社は、「資源は有限」との地球資源保護の重要性を認識し、継続的にマネジメントシステムの改善を図り地球環境に優しく、地域社会の環境保全に貢献する企業として行動します。

### 環境方針

当社の事業活動であるビルメンテナンス業務、工事業務、産業廃棄物処理業務の事業活動を通じて、環境保全に及ぼす影響を検討し、環境負荷の低減と汚染の予防を図り、継続的改善に努めます。

1. 事業活動で使用する水、電気及び燃料等の省エネルギーを推進し二酸化炭素の発生を抑制します。
2. 環境に優しい資機材を利用し、顧客にも積極的に提案いたします。
3. 環境目的及び目標を定め、その実現を図り、また定期的な見直しを図ります。
4. 当社の事業活動で適用される、環境関連の法令・条例等を遵守します。
5. この環境方針を、全従業員に周知徹底し、環境への意識向上を図ると共に、環境情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。

令和3年5月6日

テムズ中日株式会社  
代表取締役社長 小塚健司

### 3. 環境活動目標計画(単年度・中長期)

	管理項目		基準年	1期目標	2期目標	3期目標
			2018年4月～ 2019年3月	2019年4月～ 2020年3月	2020年4月～ 2021年3月	2021年4月～ 2022年3月
温室効果ガス 排出量	CO2排出量 (kg-CO2)	削減率	—	3.0%	7.0%	10.0%
		基準値/目標値	135,956	131,877	126,439	122,360
使用エネルギー の削減	電力使用量 (kwh)	削減率	—	3.0%	4.0%	4.0%
		基準値/目標値	44,149	42,824	42,383	42,383
	ガソリン使用量 (L)	削減率	—	3.0%	10.0%	12.0%
		基準値/目標値	49,810	48,315	44,829	43,832
廃棄物	一般廃棄物 排出量(kg)	削減率	—	3.0%	4.0%	5.0%
		基準値/目標値	1,457.6	1,413	1,399	1,384
	産業廃棄物 排出量(kg)	削減率	—	1.0%	1.5%	3.0%
		基準値/目標値	115.4	114	113	112
総排水量	水道水使用量 (m <sup>3</sup> )	削減率	—	10.0%	12.0%	15.0%
		基準値/目標値	452	406	397	384
グリーン購入	購入時にグリーン商品を確認し、積極的に環境に配慮した商品の購入を検討する。					
化学物質	購入量の管理を行う					
環境保全活動 の実施	教育訓練	回/年	12	12	12	12
	環境セミナー・展示 会等への参加	回/年	3	3	3	3

※1. CO2排出係数は0.426 kg-co2/kwh(中部電力2019年係数)、ガソリン2.32kg-co2L を使用した。

#### 別表【活動別ガソリン使用量】

活動別	管理項目		基準年	1期目標	2期目標	3期目標
			2018年4月～ 2019年3月	2019年4月～ 2020年3月	2020年4月～ 2021年3月	2021年4月～ 2022年3月
活動全体	ガソリン使用量 (L)	削減率	—	3.0%	10.0%	12.0%
		基準値/目標値	49,810	48,315	44,829	43,833
ビルメン		削減率	—	3.0%	10.0%	12.0%
		基準値/目標値	23,049	22,357	20,744	20,283
工事業務		削減率	—	3.0%	10.0%	12.0%
		基準値/目標値	14,867	14,421	13,380	13,083
収集運搬業務		削減率	—	3.0%	10.0%	12.0%
		基準値/目標値	11,894	11,537	10,705	10,467

## 4. 環境活動計画の取組内容(今期)

### (1) 二酸化炭素排出量削減に向けた取組み(全部門)

#### 1) 電力使用量削減

- ・不在箇所の照明の消灯
- ・不在箇所の空調機OFF
- ・昼休みの消灯
- ・不在時のPC電源OFF
- ・空調機温度管理
- ・空調機の定期点検とフィルター清掃
- ・プリンター等エコモードにて使用

#### 2) 燃料削減

- ・エコ運転の推奨(急加速しないスロースタート)
- ・車両整備の実施(こまめにオイル交換)
- ・エコ車両への切替(HV車等低燃費車)
- ・ルートの見直し(最短距離・効率的な順序)(産廃部門)
- ・アイドリングストップ

### (2) 産業廃棄物排出量削減に向けた取組み(全部門)

- ・分別ルールの徹底
- ・マニフェストの管理
- ・定期的な排出量の把握
- ・ごみゼロに向けた5R(Refuse, Return, Reuse, Reduce, Recycle)

### (3) 節水に向けての取組み(全部門)

- ・手洗い等における社員への節水要請
- ・水使用量の把握
- ・洗車時の節水

### (4) グリーン購入推進に向けての取組み(全部門)

- ・環境に配慮した商品の購入を随時検討する
- ・最適品の横展開をする

### (5) 化学物質削減に向けての取組み(全部門)

- ・新たな資材導入の際には必ずSDSを確認する
- ・使用洗剤はアルカリイオン水に切替

### (6) 環境保全活動の実施(全部門)

- ・社内教育訓練の実施(協力会社含む)
- ・環境関連行事・教育への参加
- ・緊急事態対応訓練



## 5. 環境活動の取組結果と評価

	管理項目		基準	当期目標	当期実績	評価コメント
			2018年4月～ 2019年3月	2021年4月～ 2022年3月	2021年4月～ 2022年3月	
温室効果ガス 排出量	CO2排出量 (kg-CO2)	削減率	—	10.0%	14.9%	電力使用量は増加したが、ガソリン 使用量の削減により、CO2全体 の排出量は削減できた。
		基準/目標/実績	135,956	122,360	115,642	
使用エネルギー の削減	電力使用量 (kwh)	削減率	—	4.0%	-5.7%	コロナ対策として空調機使用時に 換気する時間が増え、使用量増加 につながった。
		基準/目標/実績	44,149	42,383	46,685	
	ガソリン使用量 (L)	削減率	—	12.0%	19.8%	ハイブリッド車・低燃費軽車両へ の切替により目標達成ができた。
		基準/目標/実績	49,810	43,832	39,959	
廃棄物	一般廃棄物 排出量 (kg)	削減率	—	5.0%	-5.7%	職場の4Sにより排出量増加。
		基準/目標/実績	1,457.6	1,384	1,540.0	
	産業廃棄物 排出量 (kg)	削減率	—	3.0%	-484.1%	職場の4Sにより排出量増加。
		基準/目標/実績	115.4	112	674	
総排水量	水道水使用量 (m <sup>3</sup> )	削減率	—	15.0%	31.4%	産廃車両の洗車時シャワーノズル使 用により使用量削減ができた。
		基準/目標/実績	452	384	310	
グリーン購入	購入時にグリーン商品を確認し、積極的に環境に配慮した商品の購入を検討する。					ファイル・ホルダー等購入
化学物質	使用量の把握が難しいため、購入量を管理。					アルカリイオン水を中心に使用の 為環境への影響なし
環境保全活動 の実施	教育訓練 (協力会社含む)	回/年	12	12	12	毎月会議での情報展開
	環境関連行事・教 育への参加	回/年	3	3	2	メッセ名古屋にて展示場の視察1件、 他社の環境活動についてZOOMに よる情報収集1件

※1.CO2排出係数は電気2019年制定排出係数0.426 kg-co2/kwh(中部電力)、ガソリン2.32kg-co2L を使用した。

別表【活動別ガソリン使用量】

活動別	管理項目		基準年	当期目標	当期実績	評価コメント
			2018年4月～ 2019年3月	2021年4月～ 2022年3月	2021年4月～ 2022年3月	
活動全体		削減率	—	12.0%	19.8%	HV/低燃費軽自動車への切替、 アイドリングストップ効果が出た。
		基準/目標/実績	49,810	43,833	39,959	
本社	ガソリン使用量 (L)	削減率	—	12.0%	14.1%	HV/低燃費軽自動車への切り替 えが使用量削減につながった。
		基準/目標/実績	23,049	20,283	19,802	
工事業務	※工事は軽油含 ※収集運搬は軽油 のみ	削減率	—	12.0%	40.3%	アイドリングストップの効果が出 たと考えられる。
		基準/目標/実績	14,867	13,083	8,883	
収集運搬業務		削減率	—	12.0%	5.2%	目標値には届かなかったが、アイ ドリングストップ実施により、基準 値よりは削減できた。
		基準/目標/実績	11,894	10,467	11,274	

## 6. 環境活動計画の取組内容(次期)

### (1) 二酸化炭素排出量削減に向けた取組み(全部門)

#### 1) 電力使用量削減

- ・不在箇所の照明の消灯
- ・不在箇所の空調機OFF
- ・昼休みの消灯
- ・不在時のPC スリープモード
- ・空調温度管理
- ・空調機の定期点検とフィルター清掃

#### 2) 燃料削減

- ・エコ運転の推奨(急加速しないスロースタート)
- ・車両整備の実施(こまめにオイル交換)
- ・エコ車両への切替(HV車等低燃費車)
- ・ルートの見直し(最短距離・効率的な順序)(産廃部門)
- ・アイドリングストップ(本社では毎日記録作成)

### (2) 産業廃棄物排出量削減に向けた取組み

- ・分別ルールの徹底(全部門)
- ・マニフェストの管理(産廃部門)
- ・定期的な排出量の把握(全部門)
- ・廃棄物分別表作成(産廃部門)

### (3) 節水に向けての取組み

- ・手洗い等における社員への節水要請(全部門)
- ・水使用量の把握(本社)
- ・洗車時の節水(産廃部門)

### (4) グリーン購入推進に向けての取組み(全部門)

- ・環境に配慮した商品の購入を随時検討する
- ・最適品の横展開をする

### (5) 化学物質削減に向けての取組み(工事・産廃部門)

- ・新たな資材導入の際には必ずSDSを確認する
- ・購入量の管理

### (6) 在庫削減に向けた取組み(工事部門)

- ・在庫の管理を徹底し、使い切ってから購入する。

### (7) 環境保全活動の実施(全部門)

- ・環境関連行事・教育への参加(琵琶湖メッセ展示会等参加)
- ・緊急事態対応訓練(火災訓練等実施)
- ・毎月会議での情報展開

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

### 1) 適用となる主な関係法規

令和4年3月31日

法令・規制名称	該当する活動	順守状況
建築物における衛生的環境の確保に関する法律(ビル管法)	各種登録業の維持により建築物における衛生的な環境の確保を図る。	○
豊田市環境基本条例	廃棄物発生の削減とリサイクルによる再資源化。廃棄物発生時の適正な処理	○
豊田市一般廃棄物の減量及び適正処理に関する条例		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出の適正処理、マニフェストの管理他	○
PRTR法	SDS制度を利用し資材購入時の検討材料とする。(清掃時の洗剤購入等)	○
建設リサイクル法	元請工事の建築・解体工事等における計画・施行班への教育	○
家電リサイクル法	自社廃棄物における指定家電の廃棄に当たり適正な処理を行う	○
自動車リサイクル法	使用済み自動車のリサイクルの周知	○
労働安全衛生法	関連諸法令に対する技能・資格を保持する社員の育成	○
消防法	危険物取扱者等の資格者育成・保持	○
改正フロン排出抑制法	事務所業務用エアコンの点検管理	○
水質汚濁防止法	排水の適正処理(油水分離層の管理等)	○

### 2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規及び条例への違反はありません。

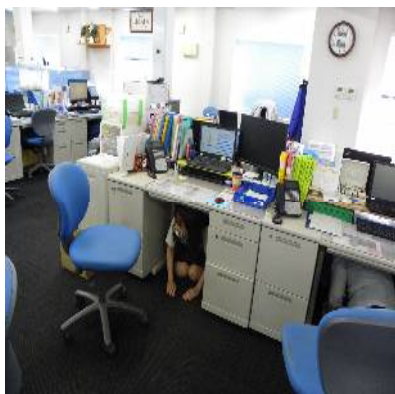
なお、過去3年間に於いて訴訟及び関係機関等からの指摘はありません。

## 8. 各種緊急対応訓練風景

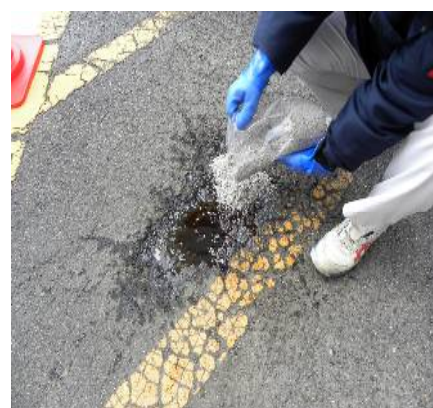
### 1. 火災訓練



### 2. 地震訓練



### 3. 油漏れ訓練



## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度においては、ガソリン使用量・水道使用量・CO2排出量において、基準年に対し目標を達成することができました。ガソリン使用量の削減については、ハイブリット車や軽自動車への入替やアイドリングストップの実施が効果に繋がったと考えられます。一方で、電気使用量の増加については、コロナウイルス感染対策として事務所の窓を換気しながらの空調利用が、主な原因の一つだと考えております。コロナ禍が続くなかで、引き続き換気を行う必要があると思われませんが、事務所の温度管理を徹底し、できる限りの電力消費量削減に努めていく考えです。

今後は、車両のエコカー推進やアイドリングストップの徹底、電気・水道の省力化、緊急時訓練の継続など更なる環境活動を継続していきたいと思っております。また、環境方針、環境目標、実施体制について大幅な変更の必要は無いと判断します。次年度においては、新たな中長期計画の初年度となりますので、目標値を達成できるよう取り組んで参ります。

令和4年3月31日

代表取締役社長 小塚健司